

# 令和3年度会務運営方針及び事業計画

## 第1 運営方針

地方分権の進展に伴い地方自治体の自由度が拡大し、基礎自治体の果たす役割は、ますます大きくなっている。

こうした動向の中で、各自治体は地域の活性化に向けて懸命の努力を重ねているが、一方、住民代表である議会の役割・責務も一層、重要となっており、意思決定機関としての使命を的確に果たすことが求められている。

この時に当たり、本会は決意を新たにしてその使命を深く自覚し、新たな地方の時代に相応しい地方自治の振興発展に寄与するため、系統議長会その他関係団体との連絡協調を密にし、政務活動・議員研修の充実をはじめ、会務の適正効率的な執行を期するものとする。

## 第2 事業計画

上記運営方針に基づき、次の事業を実施する。

### 記

#### 1. 会 議

- |            |       |
|------------|-------|
| (1) 定期総会   | 1回    |
| (2) 臨時総会   | 必要に応じ |
| (3) 全員協議会  | 必要に応じ |
| (4) 監事会    | 1回    |
| (5) 正副会長会  | 必要に応じ |
| (6) 事務局長会議 | 1回    |

#### 2. 研修会

##### (1) 第1回議員研修会

日時・会場 7月21日(水) メルパルク松山「ラフィオーネ」  
対 象 町議会議員及び議会事務局長等  
講 師 元全国都道府県議会議長会事務局次長 内田 一夫 氏  
テ ー マ 「地方議会議員のコンプライアンス」

##### (2) 第2回議員研修会

(第61回四国地区町村議会議長会研修会と合同開催)

日時・会場 10月21日(木) 砥部町文化会館  
対 象 町議会議員及び議会事務局長等  
講 師 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構副機構長  
地域強靱化研究センター長 金田 義行 氏  
テ ー マ 「南海トラフ巨大地震、首都直下地震への備え」

～地震津波減災を目指して（仮称）

講 師 ジャーナリスト 長谷川 幸洋 氏  
テ ー マ 「時局問題」

(3) 議長研修

- ① 議長視察研修
- ② 市町村アカデミー(千葉市)または国際文化アカデミー(大津市)への参加

(4) 職員研修

- ① 議会運営上の疑義に関する実務研修会 1回
- ② 「市町村議会事務局職員研修」(国際文化アカデミー)への参加
- ③ 全国町村議会事務局職員研修会への参加費助成

3. 政務活動

- (1) 町振興のための要望実現運動の実施
- (2) 系統議長会その他関係団体との連絡協調
- (3) 「町会報えひめ」の発行
- (4) ホームページの充実
- (5) 町村議会実態調査の実施及び情報連絡
- (6) 優良議会、自治功労者、優良職員の表彰
- (7) 町議会議員名簿の作成

4. 福利厚生

- (1) 町村議会議員共済事業の推進
- (2) 全国町村議会議員団体補償制度に対する協力

5. その他

- (1) 議長相互の協調及び情報連絡事業の積極的推進
- (2) 議会運営上の疑義についての照会に対する対応
- (3) その他本会の目的達成のため必要と認められる事業